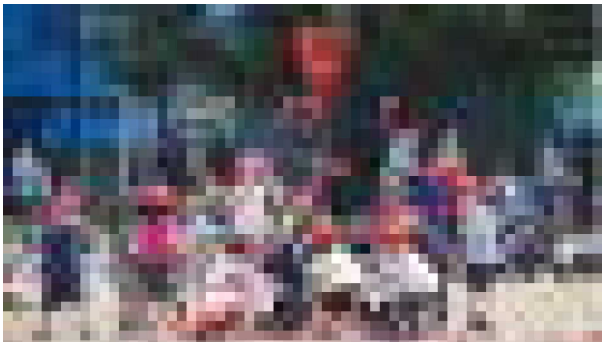
熱い運動会



順延に次ぐ順延を乗り越えて、６月６日に運動会を開催することができました。

３年ぶりに全校児童がグラウンドに集った運動会、他学年が競技中に自分のチームを応援する声もいいものです。低学年のひたむきさ、中学年の成長、高学年のたくましさなど、生観戦では、肌にいろいろ伝わってきます。リレーで活躍する選手へのどよめきのような歓声や、転んでしまった選手を励ます気持ちで自然発生した拍手など、多くの声援が児童を勇気づけてくれました。

観戦者数に制限のなくなった今年の運動会でしたが、平日開催となったため観戦がかなわなかった方もあったかと思います。また、４日（日）の順延の際は混乱したご連絡となり、大変ご迷惑をおかけしました。申し訳ありませんでした。

グランドの水抜きや整地に多くの方々のお声かけとご協力をいただきました。心よりお礼申し上げます。

ときどき連載　先生のコーナー

やめることの難しさ

□□　□□□

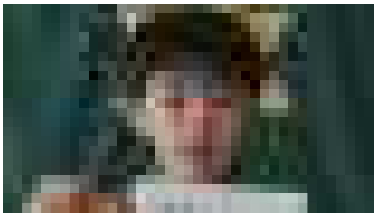
「ビンゴ！」

以前行った温泉の夕食会場で行われた200人ほどが参加していたビンゴ大会。目玉商品は、プレステⅡ（これで、どのくらい前の出来事かわかりますね…。）と温泉一泊旅行。

その目玉商品の一つプレステⅡが当たった私は、商品を受け取りにステージ上へ。そこで受けたインタビュー。「ゲームはしますか？」との問いに、目玉商品が当たったのに、全くしませんとは言えず、「…少しは…します」と答えました。しかし、やったことのあるゲームはテトリス位。ほとんどゲームをやったことのない私でしたが、せっかく最新ゲーム機が当たったのだからと、ソフトを一つ買い、友人にやり方を教えてもらいました。ゲームのやり方が分かってくると、おもしろくてやめられない。「あと１回」「もう１回」と思いながらやり続け、気が付くと深夜ということも。「明日仕事があるのだから…」と思いながらも、なかなかやめられない。「これがクリアできたら」「〇〇を取れたら」と、自分に言い訳をしながらやり続ける。しまいにはゲームのやり過ぎで親指が痛くなるほど。それでも、やめられない、止まらない。このままでは仕事にも支障が出てしまうというくらいまでのめり込みました。

ゲームを始めてしまうとやめることが難しかったので、「ゲームは休日の前日だけ」とマイルールを決め、ゲームに触れる回数を徐々に減らしていきました。次第に、ゲームから気持ちが遠のき、私のゲーム中毒期間は一か月ほどで終了しました。やる人の気持ちを引き込み続ける手立てがたくさんちりばめられているゲーム。誰かが止めさせるための手立てを講じなければ、自分でやめることはとても難しいことだと思いました。

大人でもこうなのだから、子どもが自分自身で区切りをつけることは本当に難しいことだろうと、身をもって体験した出来事でした。

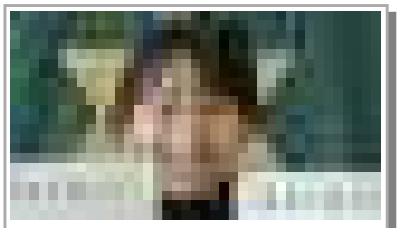


３年　□□□□さん

全十勝トランポリン競技選手権

トランポリン競技Ｃ

第３位



６年　□□□□さん

全十勝新体操競技選手権

新体操競技Ｃ　**第４位**

新体操団体競技　**優勝**

３年　□□□□さん

全十勝体操競技選手権女子Ｃ　**第４位**

３年　□□□□□さん

全十勝新体操競技選手権女子Ｄ　**第６位**

２年　□□　□さん

全十勝体操競技選手権

女子Ｃ

優　勝